

平成19年8月期 月次売上速報

- 数値はPOSデータに基づいた速報値であり、決算数値とは異なります。
- ソフマップを除く当社小売グループのPOSデータ、及び、インターネット通販の売上データを集計しております。
(当社小売グループ:ビックカメラ、ビック・スポーツ、ビック・トイズ、ビック酒販、生毛工房)
- 数値には携帯電話加入申込手数料、インターネット取次手数料等の手数料売上は含まれておりません。

1. 売上高の状況(全店前年比)

(単位:%)

	平成18年	10月	11月	12月	平成19年	2月	上期計	3月	4月	5月	6月	7月	8月	下期計	累計
	9月				1月										
売上高	100.2	102.3	100.2	100.3	103.7	108.5	102.2	105.7	105.2					105.4	103.1

2. 品目別売上高の状況(全店前年比)

(単位:%)

	平成18年	10月	11月	12月	平成19年	2月	上期計	3月	4月	5月	6月	7月	8月	下期計	累計
	9月				1月										
音響映像商品	92.0	104.8	99.3	96.9	102.7	101.4	99.1	109.3	107.9					108.7	101.5
家庭電化商品	107.1	108.7	105.3	102.1	108.7	110.6	106.6	111.4	109.8					110.6	107.7
情報通信機器商品	99.6	95.8	91.0	91.8	94.1	104.6	95.7	100.9	99.8					100.4	97.0
その他の商品	110.7	113.0	124.9	123.8	128.9	132.3	122.5	107.9	113.2					110.4	119.3

3. 概況

4月度は、全店前年比105.2%となりました。

音響映像商品は、大画面薄型テレビが価格下落の影響を受けたものの台数増で吸収して好調に推移、DVDレコーダーがハイビジョン機種の販売構成増加による単価アップで堅調に推移し、107.9%となりました。

家庭電化商品は、エアコンが好調に推移、洗濯乾燥機やスチームレンジ、炊飯器などの高付加価値商品も順調な動きを見せ、109.8%となりました。

情報通信機器商品は、パソコン本体が夏モデルとの端境期に重なったことからやや伸び悩み、デジタルカメラ・パソコン周辺機器・パソコンソフトが堅調に推移したものの、99.8%となりました。

その他の商品は、昨年末に発売された据置型ゲーム機(任天堂Wii・ソニープレイステーション3)が引き続き順調に推移、入学・就職等の新生活需要で時計が堅調に推移し、113.2%となりました。